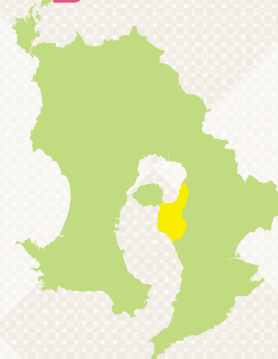


特集

トップ インタビュー

九つの彩り豊かに 健やかな人を育むまち

垂水



TOP
Interview

垂水市長 尾脇 雅弥

垂水市は、大隅半島の北西部、鹿児島湾に面するほぼ中央に位置し、鹿児島市と大隅半島を結ぶ海上陸上の要所となっている。安心していきいきと暮らせるまちづくりを目指す同市だが、どのように取り組んでおられるのだろうか。尾脇雅弥市長に、健康に暮らせるまちづくりへのビジョンやご自身の健康法等について、お話を伺った。

「元氣な垂水づくりー安心への挑戦」安心していきいきと暮らせるまち

—垂水市における健康に暮らせるまちづくりへのビジョンについてお聞かせください

本市は、市内9地区が各地域の特性（資源）を活かし、一人ひとりが主役になって、共につながり・支え合う心を育んでいます。また、豊かな自然や文化、産業、景観、暮らしや人のふれあいといった「垂水らしさ」に包まれ、健やかな「心身」が保持されています。

私は市長に就任して以来、「垂水市の発展」と「市民の幸福」の実現を政治理念に掲げ、「元氣な垂水市をつくる」という強い信念のもと、市政運営に取り組んでまいりました。

そのことを第5次垂水市総合計画へ盛り込み、市民に「安心安全で住んで良かった」と思えるまちづくり、「元氣な垂水づくり」を実感していただけるように、「安心への挑戦」「経済への挑戦」「未来への挑戦」という「3つの挑戦」を掲げ取り組んでいます。

1つ目の「安心への挑戦」では、「安心していきいきと暮らせるまち」「豊かな自然の恵みを次世代へ受け継ぐまち」をまちづくりの目標としており、市民の「健康長寿」に直結する挑戦と言えます。特定健診等の各種健診や地域包括ケアに加え、防災面の強化やライフラインの維持など、58の主要事業を展開しております。

2つ目の「経済への挑戦」では、「地域資源を生かした賑わいのあるまち」をまちづくりの目標とし、農水産業や

観光振興など25の主要事業を展開しております。

3つ目の「未来への挑戦」では、「次世代の担い手を育成・支援するまち」をまちづくりの目標とし、教育や子育て支援など44の主要事業を展開しております。

健康は、身体や精神の健康に限らず、環境の健康、社会的健康を基盤に市民一人ひとりの生活環境がトータル的に満たされることが重要と考えます。先に述べた3つの挑戦を進めながら、市民の声を耳を傾け、市民と行政との情報共有を積極的に推進することで、市民の健康長寿の延伸を目指してまいりたいと考えております。

―力を入れておられる取り組みや、特色のある取り組みについてお聞かせください

☆全国に類を見ない、たるみず元氣プロジェクト・健康チェック事業を展開

垂水市の総人口は1万3952人(令和3年10月末現在)で高齢化率は44・28%です。

このように高齢化社会を迎えている本市では、全国平均に比べて社会保障費を支える世代と支えられる世代の人数に不均衡が生じているため、鹿児島大学心臓血管・高血圧内科学の大石充教



健康チェック参加者を対象に開催する報告会の様子。報告会では、鹿児島大学の教授等や鹿児島県栄養士会等の専門家が結果表の見方から、健康チェック結果の分析結果を説明する。

授を垂水市スーパーバイザーに迎え、大石充教授の「垂水市在住一般住民における前向きコホート研究(通称、垂水研究)」と連動した取り組みを行っています。この取り組みは、40歳以上の垂水市民(参加無料)を対象に、約20年間にわたり、血圧・採血・心電図・脳と体の健康度(体組成や認知機能調査等)・口腔調査・栄養調査を実施することで、加齢に伴う生活機能・身体状況及び認知機能が生命・機能予後にとどのように関係しているか調査し、疾病予防や生命予後の改善による医療の発展だけでなく、寝たきりの予防など、介

護必要度が軽減し、最終的に医療費適正化に寄与しようとするもので、この取り組みにより、本市の課題解決にどうまらず、日本が抱える高齢化社会の課題解決の「新しいモデルケース」につながっていくものと考えております。

また、本市は鹿児島大学の大石充教授の紹介で令和2年度～4年度の3年間に渡り、厚生労働省の「食行動の変容に向けた尿検査及び食環境整備」の大規模実証検証事業にも参加させていただいており、健康増進等のエビデンスの蓄積に関わることで全ての国民の健康に寄与できればと考えております。

☆重症化予防への取り組み

現在、本市では、特定保健指導はもちろんのこと、高血圧予防事業や糖尿病重症化予防事業に力を入れて取り組んでおります。

高血圧予防事業は、保健課において「たるみず元氣プロジェクト・健康チェック事業」の派生事業として、重症化高血圧ZERO教室を開催しており、血圧計やナトリウム計を貸し出し、ご家庭で朝夕の血圧を測定してもらい、高血圧予防や重症化防止のための行動変容を促しております。

また、特定保健指導においては、市民課の保健師、看護師、管理栄養士が

熱意をもって、個別にきめ細やかな対応に努めております。この結果、特定保健指導の実施率は県内3位となりました。糖尿病重症化予防事業においても、管理栄養士を中心に、ご本人の思いを尊重し、ご本人が抱えている背景等を理解し、地元の医療機関と密に連携しながら個別の保健指導に努めております。



特定健診での問診の様子

ウォーキングで健康づくりとリフレッシュ

―市長ご自身の健康について、普段から心がけていらっしゃるごことがありましたらお聞かせください

公務のため、毎日難しいのですが、可能な限り時間を作り、妻と共に「ウォーキング」を実践しています。

本市には、南北37kmの海岸線やたる



市長の健康づくり(ウォーキング)

みずスポーツランド(中央運動公園)など、ウォーキングに適した場所があります。特に、たるみずスポーツランドは、平成29年度に垂水中央運動公園内に開設した施設で、サッカー等に活用できる天然芝や、市民の健康増進を目的に、ウォーキングコースや健康器具、児童公園を整備しており、多く市民の皆様をはじめ、私も活用している場所です。また昨年10月には、広報誌にて「ウォーキング」特集を組み、市民の健康づくりに役立てていただければと思っています。



高峠つつじヶ丘公園

—最後に何か垂水市のPRがございましたらお聞かせください

本市は、鹿児島島のシンボルである桜島に隣接しており、眼前に錦江湾を望む景勝豊かな土地であります。標高約550mに位置し、春のつつじが美しい高峠つつじヶ丘、清流が流れる猿ヶ城溪谷、約1200本のイチヨウの黄葉が秋を彩る千本イチヨウ園等、たくさんのお名所があります。

このうち、千本イチヨウにつきましては、多くのお客様が県内外から来園され、自然が織成す金色の絨毯(じゅうたん)を堪能していただいております。最も黄葉が色づく11月末には、午後6時から9時までの間ライトアップも行い、訪れた多くの方々から好評を得て



猿ヶ城溪谷

おります。
また、令和3年2月5日には、鹿児島市へ本市と始良市が加わり、桜島・錦江湾ジオパークのエリア拡大が認定されました。ジオの恵みを十分に受けた農畜産物や水産物を始め、温泉水や焼酎等、本市の特産品につきましては、ふるさと納税の返礼品としても、全国の方々に親しまれており、今年度も全国から多くの寄附を頂いているところです。

そして、本市には本市北部の牛根に位置する「道の駅たるみずはまびら」館、本市南部の浜平地区に位置する「道の駅たるみずはまびら」の2つの道の駅に加え、本市中央の猿ヶ城溪谷に位置する「猿ヶ城溪谷森の駅たるみず」の3つの施設がございます。本市ではこれらの施

設をそれぞれ「北の拠点」、「南の拠点」、「中央の拠点」と位置づけ、観光振興を通じた経済活動の活性化を図っております。「道の駅たるみずはまびら」においては、開駅3周年を迎え来館者が200万人を突破する等、観光振興につながっております。



道の駅たるみずはまびらのご来場者200万人目の方と

最後に、現在、コロナ禍で、思うようには実施できない状況ではありますが、本市では、四季折々のイベント等を企画し、元氣いっぱいお待ちしておりますので、是非、お越しいただき「垂水らしさ」を実感していただければ幸いです。